



海外で日本のルール教育、県内企業とマッチング



外国人ドライバー 養成プロジェクト

スムーズな「外免切り替え」
を支援するプロジェクトを発
表した関係者＝7日、大分市

教育などはミャンマーで
実施する。現地で日本語教
育や日本への送り出しを手
がける機関と提携。人材を
発掘し、日本の言葉や文
化、交通ルールなどを半年
かけて教えるが、県内企
業との面談（対面かオンラ
イン）を実施する。
候補者は就職の内定を受
け、特定技能を取得した後

人材紹介業の朝日キャリアバンク
（姫野秀信代表取締役、大分市）な
ど4者は7日、外国人ドライバーの
養成や就職の仲介をするプロジェク
トを始めた。運輸業界の人手不足が
背景にある。ただ、海外で取得した
運転免許を日本の免許に切り替える
「外免切り替え」が昨年10月に厳格
化され、ネックになっている。海外で
日本の交通ルールを教育して県内企
業とマッチングするなど、人材発掘
から定着までを一貫して支援する。

4者で開始 「外免切り替え」に対応

に来日。外国人技能実習生
の入国後講習などを手がける
「ティ・エス・ケー大分
校」（大分市）で、外免切
り替えの指導を受け、試験
通過後に就業する。
すでに人材発掘を進めて
おり、2026年末から27
年初めには3～5人程度の
候補者受け入れを目指して
いる。
外免切り替え制度につい
ては、国会などで「簡単す
ぎる」との指摘を受けて厳
格化した。知識確認では10
問出題し7割の正答での通
過から、50問出題9割以上
の正答に変更。通過率は24
年の92・5％から、25年10
月12月の42・8％に減少し
ている。
切り替えには期限があ
り、トラックドライバーで
入国後最長6カ月、バス・
タクシードライバーは同1
年以内に合格する必要がある。
出国前から事前に準備
をすることで余裕を持って
試験対策に臨める。
姫野代表取締役は「国内
でおそらく初めての取り組
み。九州、日本全体に広げ
ていきたい」と意気込んで
いる。
（鈴木幸一郎）



〔問①〕大分県内の企業など4者がこのプロジェクトを始めた背景には、どのような社会問題がありますか。記事から言葉を抜き出して書いてください。

〔問②〕海外の運転免許を日本のものに切り替える外免切り替えの知識確認の通過率は、2024年の92.5%から、2025年後半には42.8%に減少しています。なぜここまで合格率が下がったのか、記事を読んでその理由を書いてください。

〔問③〕このプロジェクトのように安全の確保と人手不足の解消を両立させるために、どのような工夫や支援が必要だと思いますか。あなたの考えを書いてください。
